

## 発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会  
〒336-0031 さいたま市南区  
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)  
TEL 048(864)0385  
URL <http://www.saidenkyo.jp/>  
E-Mail [kyokai@saidenkyo.jp](mailto:kyokai@saidenkyo.jp)

# 彩の輝

さいのかがやき

第193号

令和3年1月15日発行

発行人 岡村一巳

編集人 広報委員会

(委員長 矢嶋博和)

編集 日本工業経済新聞社  
(埼玉建設新聞)

## Withコロナの働き方改革

一般社団法人 埼玉県電業協会  
会長 岡村一巳



岡村会長

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。旧年中は当協会に格別のご支援をいただき厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願ひいたします。

1年前までは想定していなかったコロナ禍で、

東京オリンピックは1年の延期、多くの会社がテレワークなどの非接触型の仕事を試み、夜の街は人気がなくなりました。当協会も含め、関連団体では書面等による総会になりました。

私は、新型コロナ感染症拡大を防ぐための「3密（密閉・密集・密接）」を避ける行動を「働き方改革」に活用する機会だと思っています。仕事上、人に会い、話することは、相手の人となりを理解し信頼関係を育み、新たな情報を生み出します。複数の人との会議では、議論をすることで頭の中の整理ができ、問題解決の糸口が生まれたりします。重要なことなので、誰もがこのように労力を惜しませんでした。でも、今は3密を避ける働き方をしなければなりません。もし、インターネットを

活用したやり取りで、会議や面談を済ませる風潮が徐々に浸透すれば、労働時間の2、3割の節約ができるのではないかでしょうか。現場常駐でなければ現場が管理できないという常識もどうでしょうか。現場作業所での会議も、自分たちに関係する時間が短く、大方は他の業種の打合せの話を聞いていることが多いことを考えると余分な時間を費やしているのかもしれません。

人間関係を淡白にせざるを得ない時代になんでも、心を一つにして電設業界を発展・進化させようとする当協会の活動は、たいへん価値あるものだと思います。思うところがバラバラでは、「行政に声を伝え、行政からの声に耳を傾ける」ができません。昨年、「耀け 埼玉埼電協！」と提言を出し、コロナ禍で足踏みしたところもありましたが、2030年に向けて持続可能な開発目標の詳細を練り上げ、肃々と進めていきたいと思います。庚(かのえ)子(ね)の年は計画の年、辛(かのと)丑(うし)の2021年は迷わず地道に実行の年だそうです。魅力ある絆を会員に発信し会員間をつないで行きたいと思います。

本年も「日本一暮らしやすい埼玉県」の一助になることを自覚し、協会活動を通じて社会貢献して参りますので、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げて挨拶に代えさせていただきます。

## 埼玉県優秀建設工事表彰

埼玉県が発注した建設工事において、その工事を優秀な成績で完成した建設業者、現場代理人などを他の模範となるものとして、毎年表彰しています。

令和2年度に表彰された電気設備工事部門のうち、当協会会員が受賞した工事は次のとおりです。

### 令和2年度優秀建設工事施工者表彰

〈敬称略〉

○知事表彰	(株)東電工業社	総選除) 運転免許本部試験・行政処分棟空調設備改修電気設備工事
-------	----------	---------------------------------

### 令和2年度国土づくり優秀建設工事施工者表彰 (課所長表彰)

○設備課長表彰	(株)沼尻電気工事	総選除) 19さいたまスーパーアリーナ非常放送設備改修工事
○設備課長表彰	旭電気工業(株)	18埼玉スタジアム2002ビューレストラン整備電気設備工事

### 令和2年度国土づくり優秀現場代理人等表彰 (課所長表彰)

○設備課長表彰	(株)沼尻電気工事	総選除) 19さいたまスーパーアリーナ非常放送設備改修工事
○設備課長表彰	旭電気工業(株)	18埼玉スタジアム2002ビューレストラン整備電気設備工事

# 『新たな埼玉の歴史に向かって』



大野知事

明けましておめでとうございます。一般社団法人埼玉県電業協会の皆様には健やかに令和3年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた一年でした。当初、未知のウイルス故に確立した対処法がない中で、模索しながらも様々な施策を進めました。

皆様には、これまでに経験したことのない事態に際し、外出の自粛、施設の使用停止や学校の休業など、格別の御理解と御協力をいただきました。改めて心から感謝を申し上げます。

また、医療関係者をはじめエッセンシャルワーカーの皆様におかれましては、感染リスクを抱えながら県民の暮らしを支えるため、今なお最前線で奮闘されています。深く敬意を表するとともに、重ねて厚くお礼申し上げます。

今後も、新型コロナウイルスに強い危機感と緊張感を持って対応していかなければなりません。一方で「新しい生活様式」を実践し、感染防止対策と社会経済活動の両立をでき得る限り維持していくことも必要です。

私は、日々更新される知見を取り入れ、社会の変化にも柔軟に対応しながら、県民の皆様を守るために最善の方法を選択し、この困難な問題の解決に全力で取り組んでまいります。

さて、私は就任以来、県民サービスの向上を目的として行政のIT化やペーパーレス化などの行財政改革を積極的に推進してきました。

さらに、新型コロナウイルスへの対応の一つとして、テレワークやキャッシュレス決済など、接触機会を低減させつつ社会生活を送る取組が予想を上回る速さで家庭や職場などに広がっています。

これから、こうした社会や人々の意識、行動における変化を的確に捉え、「働き方改革」や「誰もが活躍できる社会」の実現にもつながる変革に挑戦してまいります。

とりわけ、デジタル技術により官民間わず様々な分野で変革を促すデジタル・トランスフォーメーション(DX)を重点的に推進してまいります。

また、これから埼玉県には少子化や急速な超高齢化に伴う本格的な人口減少社会が到来します。いわゆる団塊の世代が全て75歳以上となる2025年

## 埼玉県知事 大野 元裕

にかけて、全国で最も速いスピードで75歳以上人口が増加します。また、現役世代の人口減少による社会の活力低下を克服する必要があります。

このため、「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」を進めることにより、医療・介護需要の増加や働き手の不足、都市のスポンジ化などの課題に対する私なりの答えを形にしたいと考えています。

具体的には、「コンパクト」なまちづくりとして、生活圏を集約化し、医療や福祉などを切れ目なくつなげるほか、職住近接による子育て環境の向上を図ります。次に「スマート」の視点を取り入れ、AIやIoTを活用し高齢者の見守りを行うなど、効率的で効果的な取組を進めます。そして最後は「レジリエント」を意識し、災害に強い技術だけでなく、エネルギーの強靭化などにより安心・安全を高めることで、人生100年時代にふさわしいまちづくりの展開を目指します。

こうした施策をはじめ、県の施策を横断的に貫く一本の柱とも言えるのが「埼玉版SDGsの推進」です。SDGsの基本理念は、「誰も取り残さないこと」です。あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現するためにも、県内の様々な方々に御参加いただきたいと考えています。

今年は、1871年の廃藩置県により埼玉県が誕生して150周年を迎えます。この節目の年に私たちのふるさと埼玉県を知り、見つめ直し、その魅力を県内外へ、そして未来へ伝えていきます。

また、本県が誇る偉人の一人、渋沢栄一翁を描いた大河ドラマ「青天を衝(つけ)」が始まります。時代の大潮に翻弄されながらも、高い志を持って未来を切り開いていく過程は必見です。

そして、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も開催されます。感染防止対策などに万全の体制を整え、スポーツの振興はもとより、多文化交流や共生社会の推進などにより、皆様と一緒に次代へ引き継ぐレガシーを創り上げたいと思います。

今年の干支は、丑(うし)です。丑は勤勉によく働く姿が「粘り強さ」や「堅実さ」を象徴していると言われています。今年も、県民の皆様と粘り強さと堅実さを兼ね備えた「ワンチーム埼玉」となって、共に前進してまいりましょう。

## 仕様書改正の要点について学ぶ

### 第1回技術講習会

昨年10月27日、さいたま市南区の建産連研修センターで本年度の第1回技術講習会を開催しました。講師は公共建築協会の和知勝美電気設備技術室長と、県土整備部建設管理課の門間由洋主任（建築技術・積算担当）。電気設備工事の標準仕様書や共通仕様書について改正内容のポイントを学びました。

開催に際して岡村会長は、「サーマルカメラ、アルコール消毒、換気など感染症対策を取りつつ開催したことに触れながら「協会活動が停滞気味に見えるかもしれません、県へ要望活動を行うなどコロナ禍でも働き方改革を推進できる発注をお願いしているところです。肃々と活動してまいります」と協会員により一層の協力を求めました。

第1部では和知氏が国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の『公共建築工事標準仕様書（電気



間隔を取りながら講習会を行いました

設備工事編）平成31年版』などの改正点について解説。技術検査の表現について品確法と検査

和知講師

門間講師

技術基準の整合性を持たせ、設計図書や工事関係資料の漏洩防止を盛り込みました。また実施工程表や施工計画書の作成に当たり関連する工事の関係者と調整し十分検討するよう記載しました。

そのほか施工図の変更も監督職員の承諾事項としたほか、機材の品質について『新品』の意味を明確化しました。

第2部では門間氏が『埼玉県電気設備工事特別共通仕様書』などの改正点について説明。建設リサイクル関連で、再生資源利用（促進）計画書の作成の必要性を示し、産業廃棄物の処理状況をPC画面などで見せるよう示したことを説明しました。

また工事現場管理の項目では、施設に選任されている電気主任技術者とは別に工事側として電気保安技術者を置くことを明記。施設側の電気主任技術者と兼務できないことを記しました。

そのほか工事監督処理方法の一般共通事項、受注者提出書類一覧表、埼玉県建築工事実務要覧の改定内容、情報提供として監理技術者補佐の導入にも触れました。

## 浦和工高でインターンシップ 会員企業が業界の魅力伝える

昨年11月25日と26日の2日間、県立浦和工業高校でインターンシップ（現場体験実習）を実施しました。この取り組みは当協会をはじめ、さいたま市とさいたま商工会議所の協力により実現したものでした。参加した2年生は企業や学校における実習と見学を通じて適切な職業観や勤労観を養うとともに、今後の進路選択の一助としました。

初日は当協会の事業内容を生徒に伝えながら電気設備業の魅力を発信するとともに、翌日に実施する企業訪問を前に説明を兼ねて実施。

生徒を受け入れる会員企業6社の担当者が高校を訪れ、対象の生徒らに事前指導。プロジェクトに映しながら仕事内容を理解してもらうとともに、協会の事業内容を紹介。さらに参加6社がそれぞれの企業概要を説明しました。その後、翌日の訪問を前に各企業が生徒と打合せを行いました。

各企業への訪問期間は通常3日間に設定されて

いますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受入企業と参加生徒の安全安心を配慮し1日間に限定して実施となりました。

訪問当日は生徒が2～4人ごとに分かれて各企業を訪れ、企業ごとの業務内容、電気設備業の仕事を直に見ながら地元企業、産業の見聞、理解を深めました。



受入企業が生徒に会社内容を紹介しました

# 建設業の担い手育成へ受験準備講習会を開催

## 低圧電気取扱者特別教育

昨年10月28日、新型コロナウイルス感染予防の観点から低圧電気取扱者特別教育をオンラインで初開催しました。建産連研修センターから、小泉一夫氏（ケイ・教育企画サポート事務所代表）の講師により配信しました。

冒頭、山本和利事故防止対策委員長は「この講習は各企業が電気を取り扱う方々に社内の教習として本来行うべき講習を協会が代行して行うもの。どうぞご協力を」とあいさつ。続いて小泉講師が受講にあたっての注意事項、カリキュラムを説明しながら講習に入りました。

なお、特別教育をオンラインで協会が開催する場合は学科のみとなり、確実に参加しているのを画面上で確認しながらの教育となりました。



山本委員長(右)が挨拶した後  
小泉講師(中央)により実施

## 高圧・特別高圧電気取扱者特別教育

昨年11月16日と17日の2日間、新型コロナウイルス感染予防の観点から高圧・特別高圧電気取扱者の特別教育をオンラインで初開催しました。小泉一夫氏（ケイ・教育企画サポート事務所代表）が講師を務め、建産連研修センターより学科のみを配信。実技は各社ごとに行い、安全な作業環境を守る手段や危険を回避する作業手順などを学びました。

小泉氏は「この特別教育は法定教育のため守っていただく事項がいくつもあります。2日間にわたって詳しく皆さんと勉強していきたいと思います。しっかりと学んでください」と話し、講義に入りました。



受講者が真剣に耳を傾けた

## 第一種電気工事士

昨年11月18日、25日、12月2日、9日の4日間、『第一種電気工事士』技能試験の受験準備講習会を開催しました。ケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏が講師を担当。初日は午前中に技能試験の基礎知識を講義で学んだ後、午後には基本実技訓練を中心に指導を受けました。続いて2日目と3日目には公表問題の実習が行われ、個人別の技能指導も受けながら徹底的に試験対策を練りました。そして最終日の4日目には、引き続き公表問題の実習を受けた後、最後に試験日の注意事項を聞き、試験に向けて備えました。



新型コロナ感染対策を取りながら実施

## 第二種電気工事士

昨年11月12日、13日の2日間、第二種電気工事士試験受験準備講習会（技能コース）を建産連研修センターで開催しました。WSK Brain Group & RIC代表の渡辺一雄氏を講師に迎え、技能試験の概要、欠陥と重大欠陥、全公開問題の模擬技能試験を解説していました。

参加した受講生は、用意されたケーブル等の部材を使いながら本番さながらの作業をし、理解を深めるとともに、合格へのポイントをつかんでいました。



受講者が本番さながらに作業

## 1級電気通信工事施工管理技士

昨年11月4日と5日の2日間、1級電気通信工事施工管理技術検定試験（実地）の受験準備講習会を建産連研修センターで開催しました。SEEDO所属の前田義文氏が講師を務め、昨年度新設された施工管理技士の資格である『電気通信工事施工管理技士』の1級合格に向け、要点を学びました。講義は12月の実地試験に向けて焦点を絞りながら実施。1日目に施工経験記述と電気通信工事の施工管理について学んだ後、2日目には工程表、電気通信用語、法規についてポイントを理解することで弱点の克服と実践力を養いました。



弱点克服と実践力を養った

## 2級電気工事施工管理技士

昨年10月2日、7日、14日、18日、26日の5日間、2級電気工事施工管理技士技術検定試験の受験準備講習会を開催しました。講師はケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏。2級の資格取得は1級施工管理技士、監理技術者の登竜門です。小泉氏は「合格は皆さんの努力にかかっています。その手助けをするのが私の役目だと思います」などと激励しつつ、ガイダンスを説明しました。5日間とも午前中は講義で、施工計画・管理、品質・安全管理、建設業法・建築基準法など関係法令を学び、午後は学科・実地問題の模擬試験を行いました。



5日間にわたって開催

# 「2020年」を振り返って

栄電業株式会社 代表取締役 大木崇寛

一年経つのは早いもので、2020年を少し振り返ってみるとコロナ禍一色だったように思います。第一報のニュースではこのようなことになるとは想像もつきませんでした。

緊急事態宣言の発動に始まり、今まででは考えられなかつた大手企業の倒産や業績不振、当たり前だった会社に出勤することがテレワークに置き換わり会議もオンライン上でおこないバーチャルな世界で完結してしまう。当たり前だと思っていたことが当たり前でなくなり、常識だと思っていたことが非常識になる、いまだ経験したことのない一年でした。

会社を営むものとして経営環境を予測すると

ということは大切なことです。今後このような劇的な社会の変化は滅多にないことかもしれません、これからもアンテナを高く張りながら日々の変化を感じ取り、様々な角度から物事を見られるよう、そして時代に即した経営が出来るよう精進したいと思います。



## 現場の雰囲気肌で感じ 川越工業高校で現場見学

昨年11月26日、電気設備工事の現場見学会を川越工業高等学校で開催しました。建設業に興味を持つてもらおうとする県都市整備部設備課の取り組みに協力したもので、主に同校で施工されている空調電源設備工事について実施しました。当日は電気科2年生の生徒41人が参加し、工事現場の雰囲気を肌で感じてもらいました。

冒頭の説明会では田村直治校長が「実際に工事を見る機会は、あまり無いと思うので、しっかりと学習してほしい」とあいさつ。また、県設備課の小久保賢一副課長が「将来を考えるうえで、良い機会になれば」と述べ、続けて同課が公共工事の流れを説明しました。

次に、工事受注者の新生電気工事(株)（さいたま

市）が電気設備工事の概要を解説。実際に図面を見ながら現場を見学しました。ケーブルの通線・接続作業や照明器具の撤去・取り付けの実演が行われ、生徒が熱心に見て学びました。

最後に人材育成委員長の佐野雄一朗氏が電気設備業の仕事について解説し、人材育成の説明を行いました。

生徒からは「電気工事の試験勉強で出てきたものを実際に見ることができて、理解がより深まった」「現場の管理をしたり、意外と力仕事だったりと驚いた。しかし、誰かの役に立つ仕事は、すごく良いものだと思った」などの声がありました。



照明器具の撤去・取付を実演



佐野委員長が建設業界について説明

## 協会のうごき

### 11月

- 4・5日 1級電気通信工事施工管理技術検定試験(実地)受験準備講習会
- 10日 中間監査
- 14日 埼玉150周年1年前イベント出展
- 16・17日 高圧・特別高圧電気取扱者特別教育
- 17日 第8回理事会
- 25日 インターンシップ(現場体験実習)授業  
県立浦和工業高校
- 26日 県設備課主催現場見学会  
県立川越工業高校

### 12月

- 1日 優良従業員表彰式(さいたま支部)
- 3日 優良従業員表彰式(南部支部)
- 15日 第9回理事会
- 18日 優良従業員表彰式(西部支部)
- 28日 仕事納め

### 1月

- 5日 仕事始め
- 12日 優良従業員表彰式(北部支部)
- 15日 官公庁新年挨拶回り
- 21日 埼玉県有施設PAS障害時対応確認
- 25日 優良従業員表彰式(東部支部)

#### 埼玉県認定職業訓練事業

第二種電気工事士試験受験準備講習会(技能コース×2回)	11月12・13日
第一種電気工事士試験受験準備講習会(技能コース×4回)	11月18・25日、12月2・9日
1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(実地コース×4回)	1月14・21・28日、2月4日

### (一社)埼玉県電業協会会員

#### さいたま支部 (14社)

- 旭電気工業(株)(大宮区)
- 浦和電気工事(株)(南区)
- 大塚電設(株)(浦和区)
- (株)岡村電機(緑区)
- 埼玉田中電気(株)(南区)
- 埼玉電設(株)(中央区)
- 栄電業(株)(上尾市)



#### 支部長○ 副支部長○

- 新生電気工事(株)(見沼区)
- (株)積田電業社(浦和区)
- 中村電設工業(株)(岩槻区)
- (株)万代電気工業(桜区)
- (株)丸電(西区)
- 瑞穂電設(株)(北区)
- (株)八洲電業社(北区)

#### 東部支部 (12社)

- (株)内田電気商会(久喜市)
- (株)大久保電気(越谷市)

- 倉持電気(株)(三郷市)
- (株)三進電気工事(上尾市)
- 島村電業(株)(上尾市)
- (株)新電気(三郷市)
- (株)大広電気(八潮市)
- 太洋電設工業(株)(越谷市)
- (株)高岡電気工業(松伏町)
- ニチデン技術サービス(株)  
(北本市)
- 深井電気(株)(北本市)
- (株)弓木電設社(白岡市)



#### 西部支部 (18社)

- 飯島電器工事(株)(川越市)
- (株)市之瀬電設(志木市)
- (株)大庭電気商会(川越市)
- (株)岡島電気商会(川越市)
- (株)おぎでん(川越市)
- 熊田電気工事(株)(狭山市)
- (株)三共電気商会(和光市)
- (株)関根電気商会(川越市)
- 相馬電業(株)(和光市)
- (株)電成社(川越市)
- (株)中村電気(新座市)
- 橋電(株)(所沢市)
- (株)橋本電工(所沢市)
- フジヤ電気工事(株)(川越市)
- (株)北産電設(所沢市)
- (株)まつもと電機(和光市)
- (株)明電社(川越市)
- (株)ヤマト・イズミテクノス  
(ふじみ野市)

#### 南部支部 (7社)

- 内山電設(株)(川口市)
- (株)奥富電気工事(川口市)

#### (株)佐久間電設(川口市)

- 佐野電機(株)(川口市)
- 三位電気(株)(川口市)
- 高山電設工業(株)(川口市)
- 那須電機工業(株)(川口市)

#### 北部支部 (16社)

- イーテクノス(株)(熊谷市)
- (株)イトラスト埼玉  
(行田市)
- (株)内村電気(深谷市)
- (株)エコー(深谷市)
- 共和電機(株)(秩父市)
- 熊谷電機(株)(熊谷市)
- (株)栗原電機(深谷市)
- 霜田電気(株)(皆野町)
- 中外電気工業(株)(深谷市)
- (株)東電工業社(熊谷市)
- (株)長井電機(熊谷市)
- (株)沼尻電気工事(深谷市)
- (株)早川電工(鴻巣市)
- 松山電設(株)(東松山市)
- ムサシ電機工業(株)(行田市)
- (株)躍進電気(深谷市)

### 墜落制止器具を学ぶ フルハーネス型安全帯使用作業特別教育

昨年10月8日、建産連研修センターでフルハーネス型安全帯使用作業特別教育を実施しました。講師はケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏。十分に換気や間隔を取りながら、高所作業に欠かせない安全帯(墜落制止用器具)の知識と使用方法を学びました。

開講にあたり小泉氏は「労働安全衛生法の一部が一昨年6月に改正になり、安全帯の名称が墜落制止用器具となったほか、フルハーネス型の使用、安全衛生特別教育の実施が必要となりました」と話した後、カリキュラムの説明に入りました。



高所作業に欠かせない器具について学んだ

### 業界の魅力を存分にピーアール 埼玉150周年1年前イベントに出展

県民の日となる昨年11月14日、恒例となった県民オープンデーに代わって、『埼玉150周年1年前イベント』が開催されました。今年迎える埼玉誕生150周年に向けたものです。当協会も県庁の一角にブースを出展し、埼玉県電業協会として掲げた“耀け埼玉埼玉電協！”～2030年に向けて持続可能な開発目標～をポスターに。また、Saidenkyoキャリアアルートのパネルを展示し業界の魅力をピーアールしました。

